

令和2年8月4日
北菱電興株式会社

カネマツ鋼材様へ、人と機械稼働を視覚化し最適化を図る生産管理システムを導入

北菱電興株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：小倉 一郎 以下北菱電興）は、カネマツ鋼材株式会社（本社：石川県白山市、代表取締役社長：小林芳郎 以下カネマツ鋼材）様に現場－管理者－営業をつなぐクラウドを利用した生産管理システムの導入支援を行いました。

カネマツ鋼材様は、豊富な機械設備により大物、超硬素材など多様な特殊加工に対応しており、高品質・短納期での提供実現に取り組んでいます。

受注増に伴い、今後も加工工数の増加が見込まれることから、従来の管理方法に代わる効率的な生産体制の構築を模索していました。

中小企業の生産現場が ICT 技術を活用して QCD を向上させるためには、いくつかのハードルが考えられます。

- ・様々なメーカーの機械があり、共通のデータを取得することが困難（実現するにしても投資が大きくなってしまう）
- ・一品一様のオーダーにも迅速に対応しており、オートメーション化が困難
- ・特殊な加工技術及びその管理など企業によっては様々な自動化できない課題があり現場作業者が介在することが必要不可欠

これらのハードルを超えるために、北菱電興は現場－管理者－営業をつなぐシステムを構築し、人と機械稼働を視覚化し最適化を図ることが可能な生産管理システムを制作しました。

クラウドを利用した生産管理システムにより、最適な稼働管理、営業と直結できるタイムリーな生産確認、これらと生産現場の職人が繋がることで、QCD の向上を図るカネマツ鋼材様を支援しています。

〈主な機能〉

① 《QCD 向上》作業実績・機械稼働状況の見える化

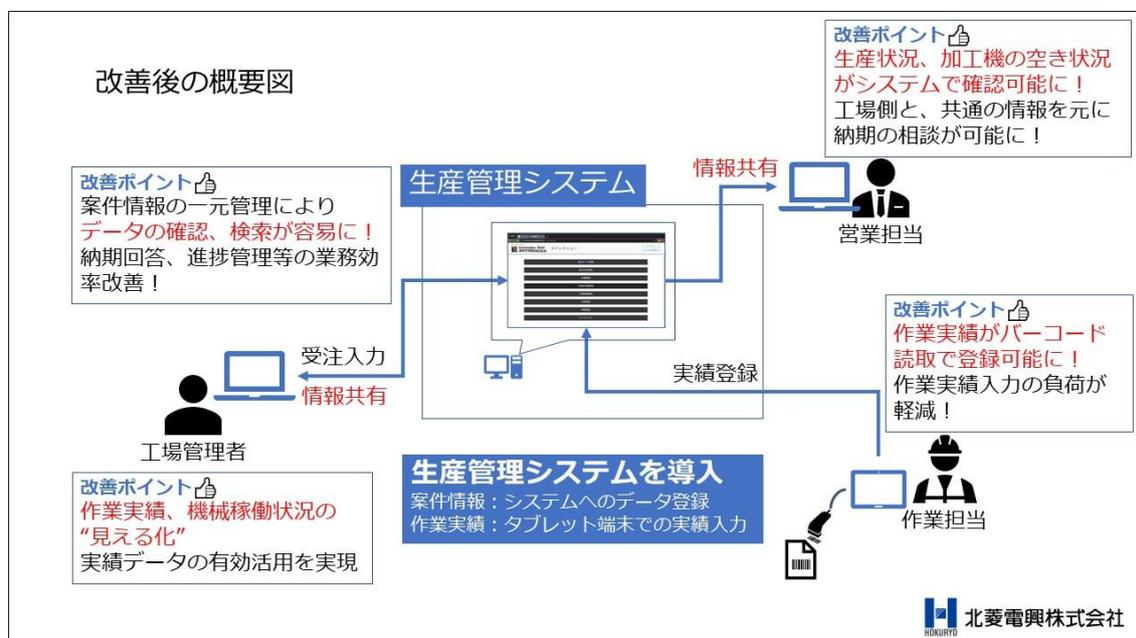
- ・作業の進捗、ボリュームを視覚的に分かりやすいグラフで表示することで、実績データの有効活用を促進します。
- ・機械ごとの稼働状況の見える化で機械負荷を確認することが可能です。

- ② 《管理者の生産性向上》専用アプリケーションで案件情報を一元管理
 - ・データの確認・検索が容易になったことで、進捗管理・納期回答をするための集計作業が削減されます。
- ③ 《営業の生産性向上》生産状況、加工機の空き状況がシステム上で確認できる
 - ・受注許容力を踏まえた営業活動が可能となり、顧客からの問い合わせに対してタイムリーな回答ができます。
- ④ 《現場の生産性向上》現場のタブレットとバーコードを利用した作業実績登録
 - ・情報共有のために事務作業に費やす時間を自動化によりカットし、その時間を技術力が求められる仕事や技術者の育成等に使えます。

中小企業では生産現場の職人さんが主役です。

現場には自動化できない仕事があり、職人さんが支えているこの領域を大切にすることが業務効率化を図る上で重要なポイントになります。職人さん自らが生産性向上への役割を担っているという意識を持ち、そのはたらきを活かすために、北菱電興は ICT 技術を活用し、サポートに取り組んでいます。

北菱電興は、効率的な生産体制構築を通じた業務改善に取り組むカネマツ鋼材様を引き続き支援していくとともに、システムの運用支援を通して新たな課題の発見・解決やニーズの創出に尽力してまいります。



<本件に関するお問い合わせ>

北菱電興株式会社 機器事業部 亀田

tel : 076-269-8513 E-mail : m-kameda@hokuryodenko.co.jp